

和気民報

日本共産党和気支部
和気町宇生254
TEL 0869-89-3096
j-nishik5563@mx81.tiki.ne.jp
ブログは西中純一
で検索して下さい。
FACEBOOKも見て下さ

メガソーラー等環境変化にどう対応するか

備前ゴルフの跡地のメガソーラー発電が10月末には完成するようだ。この発電所は南山方、北山方、丸山、苦木の4区と覚書を協定している。不都合なことが起きて因果関係が説明できれば会社も対応するというところになっている。

しかし今は温暖化により雨の降る状況も大きく変化しているなかで、長楽寺、とか長楽寺団地の方等も心配しておられる。リソゴ園西側の山を公園にしようとする計画もみられる。こういうことに対して和気町として防災のためにどのように対応するのか？ それからその他田土、丸山、南山方にも小規模開発のソーラーなど構造物ができていく。以前から私は条例等の制定もお願いしてきた。田土の杉沢

防災のために全万の削減

6月の執行部の補正予算に元は1億5000万円を繰り入れする予定であったものを議員提案で修正可決したおかげで、一般会計から7500万円繰り入れになっていたものを今回の補正でさらに8600万円を繰り入れ、歳入は6599万円マイナスとしている、上手に帳尻あわせをし

鵜飼谷温泉事業特別会計補正予算反対討論（要旨）

ようというわけだが、これでは、毎年のようにおそらく1億円程度一般会計から繰入をして和気町財政のお荷物となり、やがて売却や、売却先がないほど会計悪化で、温泉をしめて幽霊屋敷のようになっていくのが見えている。地方自治体が営業的事業を持つことに無理がある。



旧備前ゴルフクラブハウス周辺のソーラーパネル

地区では中規模なメガソーラーの話も続いている。そういう問題についてどのように対応するのか？
西本都市建設課長 備前ゴルフ跡地のメガソーラー完成後の町の対応について、和気町の開発事業の調整に関する条例のほか、岡山県の県土保全条例や森林法に基づく林地開発などのそれぞれの条例及び法律により審議され許可証が交付されている。完成後は事業者と本町と

の間で締結した協定に基づき。事業者は防災施設の管理周辺環境へ充分な配慮をするものとされており、周辺の4区においても、事業者と協定を締結している。地元の意向に沿って事業運営がされていると考えている。

対応しており1000㎡以上の土地の区画形質の変更有無によって開発行為に該当するかどうかを判断している。1000㎡未満で開発行為に該当しない事業に関しては地元区同意のもとに事業を進めるよう指導をしている。「岡山県の太陽光発電施設の安全な導入を促進する条例」及び和気町開発事業の調整に関する条例により対応していきたいと考えている。

今回の補正予算案にはコロナ対策の休業対策のプレミアや商品券補助金やコロナ前のインフルエンザ予防接種補助金や町内の宿泊施設、観光施設の施設改善費など重要な費用もあるがえて言えば、コロナウイルス罹

患者を恐れて収入が急減している医療機関への補助金やPCR検査を無料で受けられるようにする積極的な対策が見られなかった、今後政府に対して補助金や対策費の増額をはたらきかけて是非実施してほしい、

一般会計補正予算に反対し、万代議員の修正案に賛成

また今予算にキッズパークとして三千九百万円計上しているがリフォームする施設の後の対応や子育て支援センターの調整等、問題もあり、思い付きの感を逃れない、新規事業を実施する場合は今事業の意義とかコンセプトなどもっと丁寧に説明するべきものだが、そ

れができていない。またドローンパークについても、約五百万円台と予算規模はそんなに多くはないにしてもドローン所有者のための飛行場所を提供する、結果として和気町へ賑わいをもたらす集客のツールにする

（修正案賛成）
西中 反対
尾崎、若旅、神崎、山本稔、居樹、山本泰、当瀬）注（ドローンパークの予算は522万8000円）

公共交通の見直し

公共交通の見直しについて検討すると聞いている。コンセプトの見直し、とりわけ町外、特に佐伯地区では赤磐市へつなげてほしい、ネオポリスの下（野間）へ行く、あるいは熊山駅へ行つてそこから赤磐市の市営バスへ乗り換えてという風につなげるんです。何らかの形で見直しをして向上していく必要がある。同僚議員が言われた、佐伯地区と和気との間を結ぶ便があり、その後をつなぐという考え方もある。またよく聞くのは運転手のマナーが悪いので研修をしてほしい。その問題もある。

新田危機管理室長 この町営バスはスクールバスの空き時間を利用して運航している。通常と異なる下校時間のときにはスクールバスを優先として町営バスの運行を変更して対応させていた。周知につき問い合わせがあった場合など丁寧な対応に努めてまいる。

次に赤磐市方面への運行はしないのかという事だが、現在佐伯熊山線があり、赤磐市との広域路線バスこれも周回から和気駅へ運航している。平成30年3月に策定した、和気町の地域公共交通網形成計画というものがある。この計画の中で基本方針の一つにJR和気駅周辺への

人の流れをつくるというのがある。今後は、町内の商業施設、それから飲食店等とも連携した魅力的な町の中心拠点を創出して、町民の生活の質の向上を公共交通を使って目指していくこととしている。

次に運転手のマナー向上できないかということだが、運転手には町職員として自覚を持ち、安全運転はもちろんだが、親切丁寧な接遇を心掛けるよう日頃から指導している。運転手マナーの向上について引き続き指導していく。

再質問 スクールバスが中心でそ

のあとからの運行で町民の足にする、和気駅を周辺につなげるという事もあった。やはり佐伯と和気の対等合併である。ちよつとした工夫で利便性が向上する。そういう気持ちを持っている。例えば熊山の松木に増便するとなるとコストがものすごくかかるのか？

草加信義町長 路線バスの運休や変更については一般社会人の方に大変なご迷惑をおかけしている。これはもともと一般社会人と同乗していただくのを基本的に考えていた。しかしなかなかこのことが理解いただけないとい

うことでご迷惑をおかけしている。同乗していただければ時間の設定等についても利便性が図れる。また赤磐との中継については熊山駅へ入るのは大変怒られる。友実市長とも話し合いをする。赤磐市のバスとつなぐのも一つの方法である。

和気鵜飼谷温泉の経営改善計画書の作成を求める決議

和気鵜飼谷温泉は、平成24年4月に和気北部衛生施設組合から和気町に移管以来、町民のみならず県内外からの利用者に支えられながら、和気町の観光施設の拠点としてして運営している。

同施設の職員は、経営改善に向けて日々努力されているが、昨年末から中国武漢市で発生した新型コロナウイルスの影響もあり、和気鵜飼谷温泉の経営は非常に厳しいものとなっている。

そのため、和気町に移管後、基金（剰余金）の取崩しのみならず、令和2年度は一般会計からの繰入れを行うなど、経営収支の悪化が著しく、抜本的な改革を盛り込んだ早急な経営改善が必要である。

よって、和気町の財政状況に鑑み、町民の理解を得るためにも、専門家等による意見を聴取し、明確で実現性のある和気鵜飼谷温泉経営改善計画を早急に作成するよう強く求める。

以上決議する。

令和2年9月23日

和気町議会

**（提案者＝居樹豊 賛同者＝太田啓補、山本稔の各議員）
全会一致で可決**

9月議会の中で鵜飼谷温泉特別委員会では、経営問題やコロナ対策について相当激しい議論が行われた、経営についてこのまま放置するならば和気町の大きな政治問題になってくるということに鑑みこのような決議がなされて全会一致で議決されたものと思う、草加信義町長をはじめ和気町執行部はこの決議を真摯に受け止めて経営改善の実を上げてほしいと思う。



経営改善が急がれる和気鵜飼谷温泉



佐伯プラザを出る町営バス



駅前広場の動線は

駅前駐車場の利便性駅前広場の動線改善は

駅前駐車場は定期駐車が多すぎてなかなか止められない。時間駐車枠を増やすべきではないか？そのためにもJRの余った土地を購入して事業勧めるということではなかったか。もうある程度JRとも話ができていたはずだが、その話はどうなったか？駅前広場の道路で一般車の送迎がむづかしいという事もあった。駅前交番も移転しているので、その動線を改善できないか？

西都市建設課長 駅前駐車場の満車状態の改善については、16台分定期を減らし、一時駐車を増やしたことで慢性的な満車状態は改善したと思われる。

土地購入については、JRと協議を進めている。引き続き整備の時期についても検討している。駅前広場の動線の問題は、交番跡地を購入してからはバスや送迎には問題はないと考えている。